

漁海況情報



沖縄県水産海洋技術センター
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
電話 098-852-4530・4531
FAX 098-852-4533

2013年(平成25年)10月 第491号

↑携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード)

最新情報提供：沖縄県水産海洋技術センター
URL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。

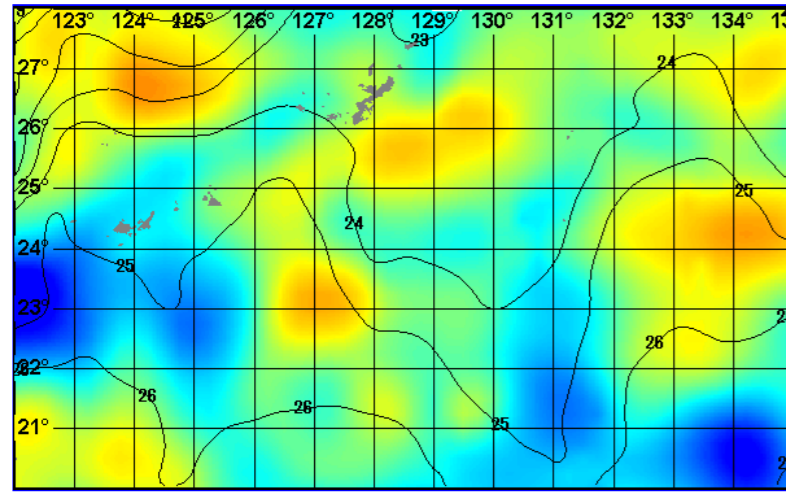


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2013年11月30日)

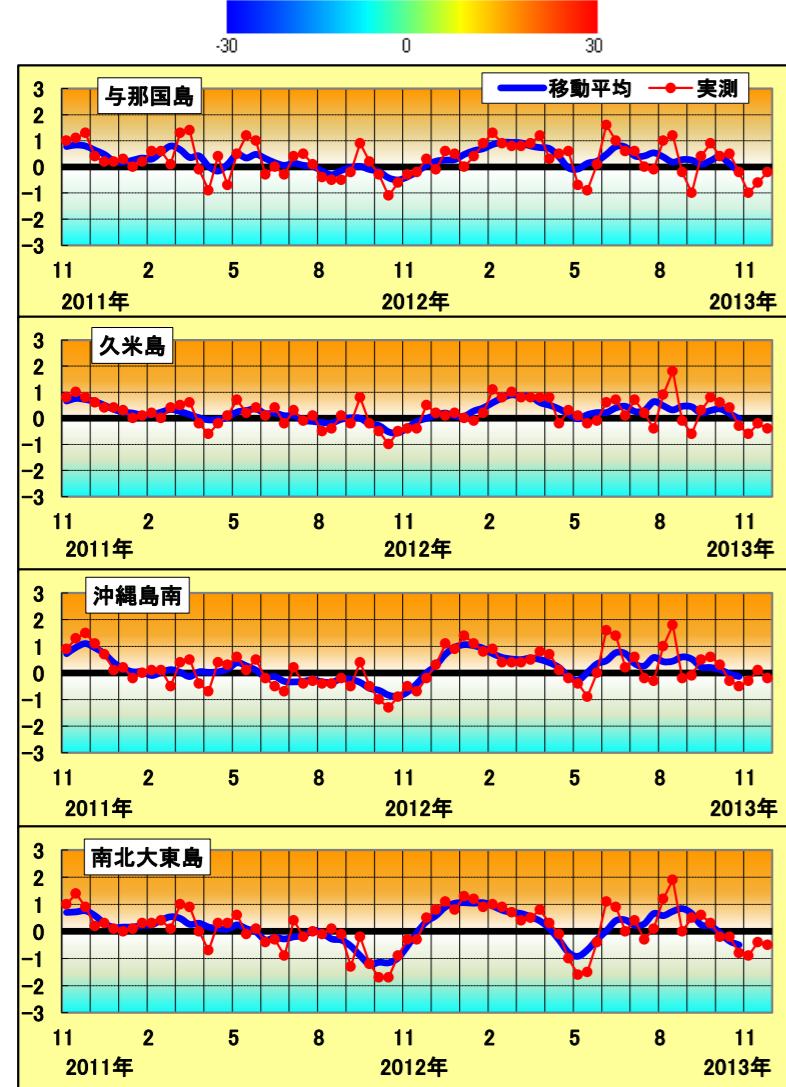


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)

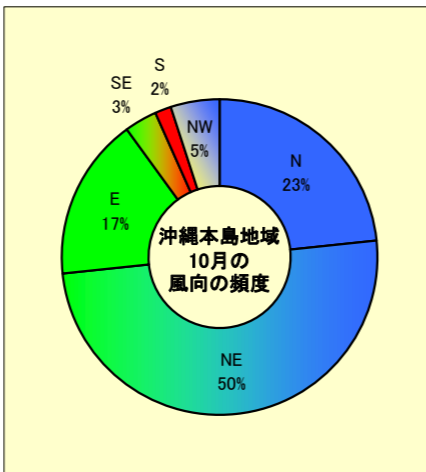
水温：11月の水温は、与那国島、南北大東島で前半、低め(-1.0℃程度)、後半、やや低め(-0.5℃程度)、宮古島、石垣島付近は全般にやや低め(-0.5℃程度)の他は概ね平年並み(±0.5℃程度)であった。

今後1ヶ月の表面水温は、与那国島、尖閣諸島、南北大東島で全般に低めからやや低め(-1.0~-0.5℃程度)、尖閣諸島でやや高め(+1.0℃程度)の他は、前半、やや低め(-0.5℃程度)、後半、平年並み(±0.5℃程度)で推移する見込み。

潮流：先月から宝山大九曾根には南から暖水を伴う流れが発生している模様。

参考資料
・気象庁：沖縄周辺の日別海水温・潮流
・気象庁：海水温海流1ヶ月予報
・沖縄気象台：沖縄県地方1か月予報

11月下旬の表面水温平年偏差	
与那国	平年並み
久米島	平年並み
沖縄島南	平年並み
大東島	やや低め



漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、シビ、キハダ、シイラ、伊良部ではシビ、キハダ、シイラの水揚げが多かった。

表1 10月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	3.1	0.9	0.3	1.9	6.2	3.8	16.5
カカジキ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	1.0
沖サワラ	0.6	0.0	0.1	0.2	1.0	0.1	1.2
カツオ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.7
キハダ	5.9	0.3	1.0	0.9	8.2	7.4	27.7
シビ	5.1	0.4	2.0	2.0	9.5	10.0	21.5
メバチ	1.7	0.0	0.0	0.1	1.8	0.0	3.1
計	16.7	1.6	3.5	5.2	26.9	21.5	71.8

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6~10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

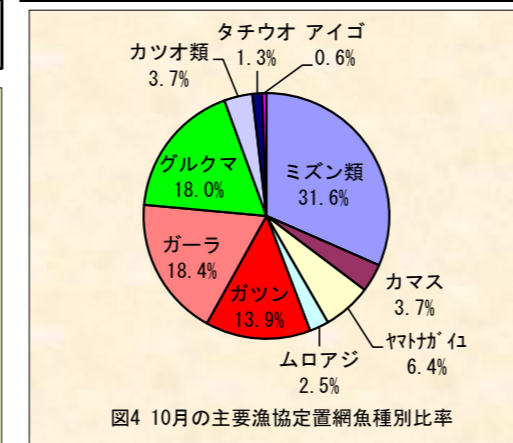
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	40.5	25.9	38.3	33.8	17.1	155.6
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	17.8	154.4
2012年	26.7	34.1	37.3	34.0	15.5	147.6
2013年	10.3	11.3	23.9	16.9	8.2	70.6

表3 6~10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	16.6	19.0	27.5	21.5	6.7	91.3
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	16.9	71.6
2012年	12.8	18.8	15.2	25.9	12.7	85.4
2013年	12.1	24.9	20.6	16.8	9.5	83.9

表4 6~10月のシイラ漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	1.8	0.3	5.1	3.5	6.0	16.7
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	11.2	31.6
2012年	2.3	0.2	0.6	2.0	8.6	13.7
2013年	2.9	0.2	0.2	1.8	6.2	11.3



定置網：10月の全体の漁獲状況は、4,645.7kgで先月(9,969.7kg)と比べて減少した。ミズン類の漁獲が全体の31.6%、ガーラが18.4%、グルクマが18.0%を占めた(表5、図4)。



トガリエビス(マシラカー、アカイユ)

糸満ではキハダが5.9t、シビが5.1t、シイラが3.1t漁獲された。港川ではシイラが0.9t、シビが0.4t、キハダが0.3t漁獲された。知念ではシビが2.0t、キハダが1.0t漁獲された。沖縄市ではシビが2.0t、シイラが1.9t、キハダが0.9t漁獲された。伊良部ではシビが10.0t、キハダが7.4t、シイラが3.8t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2~4に示した。更に過去4年間の1~12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

10月のキハダの漁獲量は、8.2tで9月(16.9t)に比べて8.7t漁獲量が減少、昨年の10月(15.5t)と比較すると7.3t減少した(表2、図3)。シビの漁獲量は9月(16.8t)と比べて7.3t減少した(表3)。シイラの漁獲量は9月(1.8t)と比べて4.4t増加した(表4)。

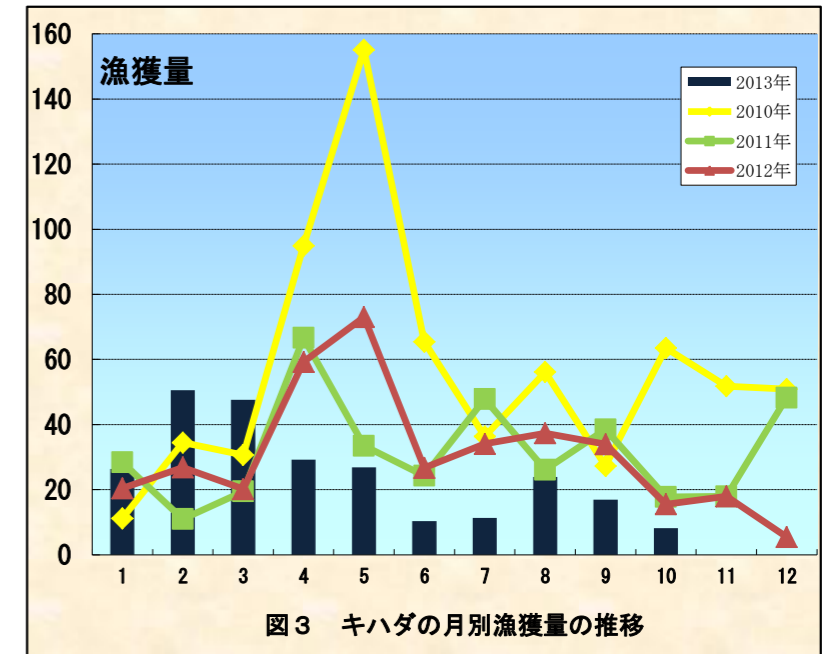


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表5 10月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	金武	名護	勝連	与那城		
ミズン類	320.5	2.2	0.0	775.0	0.0	362.6	0.0	1,460.3
カマス	46.6	58.0	0.0	26.9	0.0	5.6	34.9	172.0
ヤトナガイ	282.5	0.0	0.0	12.3	0.0	0.0	0.0	294.8
ムロアジ	107.9	0.0	0.0	9.8	0.0	0.0	0.0	117.7
ガツン	471.8	145.7	0.0	9.9	0.0	13.2	0.0	640.6
ガーラ	121.4	620.8	0.0	67.6	0.0	37.6	3.0	850.4
グルクマ	274.4	402.6	0.0	138.1	0.0	17.0	0.0	832.1
カツオ類	133.3	0.0	0.0	38.2	0.0	0.0	0.0	171.5
タチウオ	9.1	49.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.7
アイゴ	0.0	3.3	0.0	0.6	0.0	22.9	0.0	26.8
合計	1,767.5	1,282.2	0.0	1,078.4	0.0	458.9	37.9	4,624.9

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。